

第1回締約国会議が被爆地長崎で開催できれば、各国政府の代表が直接被爆の実相に触れる機会となるとともに、ここ長崎から核兵器禁止の強いメッセージを世界に発信することで、国際社会の動きを加速させることが期待できると考えている。

しかし、締約国会議の規模や会期、開催地の決定方法などの詳細が明らかになっていないことから、まずは情報収集に努め、可能性のあるものについて積極的に働きかけを行いたい。

8050問題(中高年のひきこもり)への対応

問 80代の高齢の親が50代のひきこもりの子どもの面倒を見る「8050問題」について、本市の対応を伺いたい。

答 中高年のひきこもりの背景には、本人や家族の病気、経済的困窮など複雑に絡み合った問題があり、社会的に孤立するケースも多いことから、行政と医療・保健・福祉などの関係機関が連携し、地域全体で支援する必要がある。

本市では、電話や面接での相談対応や家族学習会などのひきこもり支援のほか、多機能型地域包括支援センターを市内2カ所に設置し、関係機関とも連携した支援を行っている。
今後とも医療機関や地域包括支援セン

ター、地域の関係者等と連携・協力し、対象者に寄り添いながら支援していきたい。

令和長崎

家賃が安いまちづくり

問 人口減少の原因の一つに、本市の建物の容積率と高さ制限による住宅の販売価格や家賃の上昇があると考えているが、その緩和策の検討状況を伺いたい。

答 本市では、安全で暮らしやすい場所に都市機能や居住機能を誘導するため、容積率の緩和など、土地利用規制緩和の検討を進めている。

昨年度までに、元船町地区や中島川周辺地区などにおいて高さ規制の撤廃や容積率の緩和などの見直しを先行的に実施している。

現在、重点プロジェクトである「住みよかプロジェクト」により、短期的に成果が得られる取り組みを強化しており、住みやすい環境づくり、容積率の緩和などに継続的に取り組んでいきたい。

スポーツ振興のための支援策

問 本市の競技力底上げのため、ジュニア世代の競技力向上の支援の取り組みについて伺いたい。

答 本市では、ジュニア世代を対象とする選抜合同練習や強化合宿、指導者招致など長崎市スポーツ協会の加盟団体が行う、競技力向上のための取り組みに対し補助を行っており、普段の練習だけでは得られない経験を積むことで、競技力向上につながっていると考えている。

また、中学生を海外へ派遣するスポーツ交流を行っていただくほか、海外代表チームのキャンプを受け入れることで、子ども達が世界レベルのスポーツにふれる機会をつくっている。

今後ともジュニア選手の手育成と指導者の指導力向上を支援していく。



日本共産党

市営住宅の計画修繕

問 国が示している修繕周期表に沿った市営住宅の計画修繕を遅滞なく実施しているのか。また、市営住宅のエレベーター設置について見解を伺いたい。

答 国が定める指針では公営住宅の修繕周期が示されており、壊れる前に計画的に修繕を行う予防保全的管理が推

奨されている。

本市の市営住宅では、入居者の要望や指摘などを踏まえた修繕や、定期的な点検に基づく外壁や屋根、浴室などの修繕を5カ年計画で実施している。今後遅滞なく修繕を実施するとともに、予防保全的管理に努めていきたい。

また、エレベーターの設置は、住宅の耐用年数等も勘案して、設置が必要な場所を検討し、実施していきたい。

放課後児童クラブの法人運営への移行

問 まだ法人運営へ移行していない放課後児童クラブへの本市の対応について伺いたい。

答 本市では法人による運営を推進しており、現在約8割の放課後児童クラブが移行している。移行過程においては、市の方針について、運営委員会、保護者など関係者に丁寧な説明を行い、移行後についても、保護者の意見が反映できる仕組みづくりへの働きかけを行っている。

また、法人による新たな施設整備を支援するため、今年度から放課後児童クラブ施設整備事業費補助金を創設した。

今後とも、放課後児童クラブの継続的・安定的な運営のため、法人による運営への移行を積極的に支援していきたい。